

同窓会記念館望洋台に 同窓会専用事務局を開設



発足以来、母校事務局内に拠点を置いて活動を続けてきた西高同窓会ですが、平成19年11月、母校の協力の下、県への同窓会館使用許可申請が受理され、念願の専用事務室を開設することができました。

同窓会館資料室の約四分の一を占有スペースとして仕切り、事務機器及び専用電話を設置。当面毎週月曜日午後一時半～四時半まで専任の事務員が勤務しております。



発行
静岡県立浜松西高等学校同窓会
発行人
寺田一彦
題字
町田晃
編集
同窓会報編集委員会
浜松市中区西伊場町3番1号
電話 053-456-0662
印刷
(有)和三印刷
発行部数 16,250

浜二中卒業生 2,041名
浜西高卒業生 22,740名
(内女子4,588名)
内19年度卒業生196名(87名)



20名までの会議ができるテーブル等の整備も行い、現在のところ同窓会関連では、同窓会執行部、同窓会報編集委員会、「新春のつどい」運営委員会が定期的に使用しており、快適な環境で仕事も多いにはかどっています。

また従来学校事務職員の方にお願していた事務処理も、大半が同窓会事務員の職務に移行し、柔軟な対応が可能となりました。同窓会専用のEメールアドレスも取得いたしましたので、メールでもお問い合わせ、ご連絡いただけます。

事務室は、事務員在中の時間帯、同窓会員の皆様に自由に立ち寄っていただけるサロンとしても開放しております。どうぞ

同窓会専用電話・ファックス

053-456-0662

Eメールアドレス

hama24@shizuoka.email.ne.jp

毎週月曜日午後1時半～4時半までは事務員が応対。それ以外は留守番電話にメッセージを録音してください。

一度同窓会事務室にお越しください。同窓会の皆様にも多いに活用していただき、同窓会活動のさらなる活性化につなげていきたいと考えております。

同窓会長挨拶



寺田一彦(高11回)

「昨年、最近同窓会の懇親会への若い人の参加がすくなくないから会社の後輩をぜひ連れてきて欲しいと頼まれたので、強制的に連れてきたんだが。彼はもうコリゴリといつて今年には逃げられちゃった。」

「若い連中には面白くないらしく不評なんだよね」

「会社だって上司の課長、部長とは話しくいのに、まして普段顔も見ただこと無い人と先輩・後輩の関係だからってすぐに話ができるものじゃないし。ずっと壁の花でいるのはきつかった。」とこぼしていた。これは今年実際に開催された他校の同窓会に出席した私に愚痴をこぼした先輩の話です。時代が変わり世代間の価値観が変わってきている中での同窓会の運営について改めて責任を感じさせられました。同窓会は母校愛を唯一の絆として世代間や利害関係のない集まりでなくてはならないと思っています。同窓会は楽しかった、久しぶ

りに懐かしい人に会えてよかつた、といわれる同窓会の運営を心がけなくてはと改めて感じました。

会員の皆様には同窓会に対して忌憚のないご意見、ご希望をお寄せください。

更なる発展を目指して



校長 浅羽 浩

同窓生の皆様には、日頃より、西山賞の授与・同窓生による講演会開催・英国研修への補助等、本校の教育活動を様々な側面から御支援いただき、心より感謝申し上げます。

この春、中高一貫教育を導入してから初めての卒業生一九六名が西山台から巣立っていきました。このうち一〇五名が国立大学に合格し、東京大学、北海道大学、早稲田大学等に、それぞれの志を抱いて進学しました。本校では様々な体験活動や探求活動をおして、特に「社会貢献への高い志」を育むことに力を入れています。その点で生徒たちの多くが、「学びへの渴望」と形容してもよいほど学問

への高い意欲を抱いて進学していき、その思いの強さに感動を覚えております。

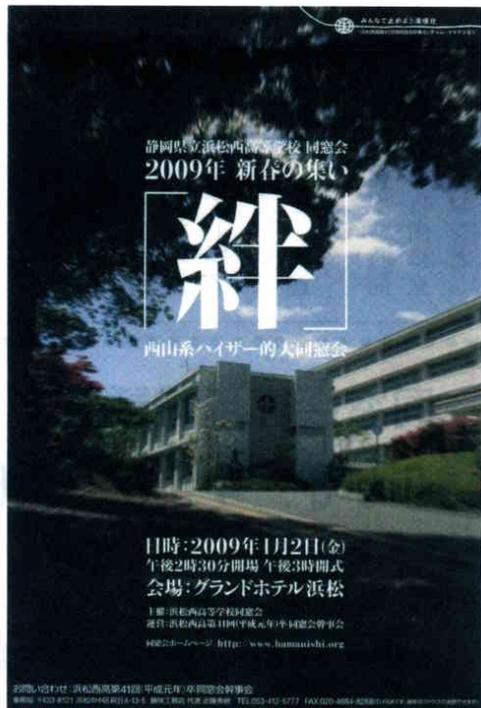
また、生徒たちは、部活動や文化祭・コーラスコンクール等にひたむきに取り組んでおり、その集中力と注ぐ情熱は素晴らしいものがあります。部活動においては、昨年度は、中部部の女子テニス部・陸上部・卓球部・吹奏楽部、弦楽部が全国大会に、水泳部が東海大会に出場し、高等部では、陸上部が全国大会に出場したほか、全国高校化学グランプリ銅賞を受賞するなど数々の成果を上げております。

一方、中・高校生の多感な青年期にある生徒たちの中には、生き方をめぐる様々な壁にぶつかり、もがきつつ、学年を重ねるごとに大きく変容し成長していく者もいます。こうした生徒たちの取組や成長ぶりにも感動しています。今後とも、文武両道の精神を継承し、感動と成長の場を提供する学校でありたいと考えております。

ところで、県立中学校併設から六年が経過し、多くの成果とともに様々な課題が見えてまいりました。合わせて、学習指導要領の改訂、県の高校入試制度改編等により、新たな対応を求められております。

多くの方々のお知恵をいただきながら、よりよい学校づくりに向け全力で取り組んでまいりますので、宜しくお願いいたします。

2009年新春の集い



http://www.hamamishi.org

二〇〇九年新春の集いはグラウンドホテル浜松にて、一月二日に開催します。

今回、当番幹事を務める高41回卒は平成元年卒にあたります。

そこで、昭和卒と平成卒の架け橋として、何ができるのかを模索した結果、テーマを『絆』、『西山系ハイザー的大同窓会』に決定しました。

これまでもあった横世代の連帯「ヨコの絆」に対し、世代を貫く「タテの絆」を実感・共有できる集いとし、さらにその縦串が若年層にまで突き刺さるものとした。この想いを、奇をてらわずシンブルに表現しました。

そして、今回、20代・30代の平成卒業生の多くの参加を募る新たな試みとして、会費を卒業年度に応じた二段階設定としました。

趣旨の企画も盛り込み、西高オール世代総結集の同窓会を目指しますので、皆様ぜひご参加ください。

二〇〇九年 新春の集い

日時 平成21年1月2日(金)

会場 グランドホテル浜松

会費 8,000円(高41回卒以上) 5,000円(高42回卒以下)

主催 同窓会長 寺田一彦 当番幹事 高41回卒業生 代表幹事 近藤秀樹

事務局連絡先 近藤秀樹 〒433-8121

TEL 053(412)5777 FAX 020(4664)8268

平成二十一年度総会報告

平成二十年六月十四日(土)午後五時より浜松名鉄ホテル四階芙蓉の間に平成二十一年度静岡県立浜松西高等学校同窓会総会懇親会が開催され、同窓生約百名が出席しました。

総会においては、寺田一彦同窓会会長挨拶、浅羽浩名誉会長の挨拶に続き、今年度の議事について協議しました。

(一)平成十九年度事業報告及び決算報告

(二)平成十九年度新春の集いについての事業報告・決算報告

(三)会則及び内規の変更について

(四)会長、副会長、会計、会計監査選考規定について

(五)役員改選について

(六)平成二十年事業計画及び予算案について

事業計画及び予算案が承認されました。



報告事項

(一)事務局開設について

(二)会報について

(三)平成二十一年度新春の集いについて

各担当者から報告がありました。

総会に引き続き、懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中、世代を超えた同窓生間の交流を深め、楽しく有意義な会になりました。



寺田会長挨拶

昨年から総会と懇親会を同時に開くことにより、多数の同窓生のご参加をいただき、大変嬉しく思っております。

皆様には同窓会の現状をよくご理解いただき、会員相互の十分な意見交換を通して会の活性化に繋げていきたいと思っております。

今年度は会則の変更についてご提案申し上げます。作成当初より時間も状況も変化しており、現状に即しておりません。特に会員数の増加と共に評議員の役割も重要になってきておりますので、皆様の同窓会活動に対するご支援とより一層のご協力を御願致します。

執行部も評議員を通して皆様の働きかけをより積極的に勧めていきたいと思っております。本日は、大いに語り合い、有意義な時間をお過ごしください。



浅羽校長先生挨拶

平成十四年四月に初めて併設中学校の一期生として入学した生徒達が、六年間の学校生活を終え、この春西山台から無事巣立って行きました。百九十六名の生徒達に私が一番力を入れて参りましたのが、「社会に対し

て貢献していこうという大きな志を持った生徒達を育てる」ということです。

大学に入ったらこういう分野のことを新たに学びたいというような向上心を持って卒業したことは大変嬉しいことです。

百九十六名の卒業生のうち、百五名が国立公立大学に合格し、そのうち難関大学には、約三十名が合格致しました。これは近年にない素晴らしい生徒の頑張りだったと思っております。

さて、同窓生の皆様方には西山賞の授与、或いは同窓生の皆様方の講演会、イギリスへの語学研修等様々な形でご支援をいただいております。誠にありがとうございます。

同窓生の皆様方には、この後も在校生を応援していただけますよう、また同窓生の皆様方が益々ご活躍されますことをお祈り申し上げます。



◆御悔み◆

- ▼中7 青野寿 ▼中8 中村又三 ▼中11 芥田登・中村勉
- ▼中13 川島幸平 ▼中14 外山寿一・岡部紀夫 ▼中15 天野輝男・内田英邦 ▼中17 伊藤敬一・鈴木幸男・増井普
- ▼中18 市川繁夫・高田実・谷川武司・爪田実・西尾清・山内昭治・山田昭治・水野功・鈴木喜八郎 ▼中20 平野一二 ▼中21 河島博 ▼高2 岡部徹 ▼高3 宮松正・新野幸雄 ▼高5 菊地哲雄・岡井聡夫・中野桂佑・須田哲次・近藤高弘・伊藤昭 ▼高6 秋野富司 ▼高9 芥川是男 ▼高10 石井勉・河合茂知・大石昌広・刑部泰雄・恩田寿久・宮崎英夫 ▼高24 松下豊 ▼高26 村松裕子 ▼高29 伊藤淳一 ▼高54 金子彩



平成19年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計決算書

収入総額 19,231,732 円
 支出総額 7,312,599 円
 差引残額 11,919,133 円

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
繰越金	15,785,112	15,785,112	0	前年度繰越金
入会金	2,940,000	2,985,000	45,000	高校60回卒業生196名、他3名
基金利子配分金	5,900	5,900	0	甲子園出場記念基金利子配分金
繰入金	1,000,000	416,937	-583,063	新春の集い剰余金
雑収入	30,988	38,783	7,795	預金利子、同窓会名簿代等
合 計	19,762,000	19,231,732	-530,268	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	備 考
1 事務費	3,450,000	2,797,615	652,385	
事務局費	350,000	30,619	319,381	事務局職員給与等
需用費	3,100,000	2,766,996	333,004	事務局改修費、複写機リース料等
2 会議費	650,000	478,335	171,665	
総会費	500,000	394,100	105,900	総会会議費
役員会費	150,000	84,235	65,765	役員会会議費
3 事業費	4,700,000	4,036,649	663,351	
会報費	3,200,000	2,891,290	308,710	ホームページ運営費、会報印刷代、送料、会報編集委員会運営費等
助成費	1,500,000	1,145,359	354,641	慰霊祭、香料、歓送迎会、激励費、海外研修援助費、西山賞、講演会謝礼等
4 予備費	10,962,000	0	10,962,000	
合 計	19,762,000	7,312,599	12,449,401	

平成20年4月24日

以上のとおり報告します。

静岡県立浜松西高等学校同窓会

会 長 寺 田 一 彦

会 計 田 中 範 雄

上記の決算について証拠書類、出納簿を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成20年4月24日 会計監査 前田米蔵印 会計監査 磯部育夫印

平成20年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計予算書

収入総額 15,990,000 円
 支出総額 15,990,000 円
 差引残額 0 円

収入の部

(単位：円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
繰越金	11,919,133	15,785,112	-3,865,979	前年度繰越金
入会金	3,000,000	2,940,000	60,000	高校61回卒業生200名
基金利子配分金	33,700	5,900	27,800	甲子園出場記念基金利子配分金
繰入金	1,000,000	1,000,000	0	新春の集い剰余金
雑収入	37,167	12,988	24,179	預金利子、名簿代
合 計	15,990,000	19,744,000	-3,754,000	

支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1 事務費	700,000	1,650,000	-950,000	
事務局費	400,000	150,000	250,000	事務局職員給与、事務局維持費等
需用費	300,000	1,500,000	-1,200,000	複写機リース料等
2 会議費	850,000	650,000	200,000	
総会費	700,000	500,000	200,000	総会会議費
役員会費	150,000	150,000	0	役員会会議費
3 事業費	4,400,000	4,700,000	-300,000	
会報費	2,900,000	3,200,000	-300,000	ホームページ運営費、会報印刷代、送料、会報編集委員会運営費等
助成費	1,500,000	1,500,000	0	慰霊祭、香料、歓送迎会、激励費、海外研修援助費、西山賞、講演会謝礼等
4 一般会計基金繰出金	8,500,000	0	8,500,000	
5 予備費	1,540,000	12,744,000	-11,204,000	
合 計	15,990,000	19,744,000	-3,754,000	

※科目間の流用を認める

新春だよ 全員集合!! 「新春の集い」

二〇〇八年

新春の集いを終えて 代表幹事 浜川正宏(高40回)

平成20年1月2日、今年もグランドホテル浜松において、盛大に「新春の集い」が開催できましたことを、まずは心よりお礼申し上げます。

本年の「新春の集い」は、「新春だよ全員集合!!」宿題や「やったか?!」をテーマに活動を進めて参りました。

テーマが「全員集合」ですので、皆様に参加していただけるように趣向を凝らし、また前年の先輩方の改革を少しでも繋げ



ることが出来るように、と考えました。

そして、最後まで皆さんが楽しんでくださるよう、と考えました。

- 新春のおめでたさを伝える為、「浜北飛龍太鼓」による太鼓の演奏
- 「現役高校生」の起用

昨年引き続き、「吹奏楽部」の出演、「現役西高生演歌歌手」の「鈴木啓真」君のステージ

- 「見て聴いて楽しむことができるゲスト」「斉藤ルミ子」さん、「テレサ・チェン」さんの出演

当日はお楽しみいただけましたでしょうか?今となっては気がかりですが、会が終了し、皆様から温かいお言葉を頂戴した時には、本当に涙が出そうにな

2008年 新春の集い 決算書 (単位:円)

項目	金額	備考
収入の部		
広告売上	9,133,740	広告協賛企業 407社
チケット売上	6,438,790	販売枚数 805枚
雑収入	120,000	ご祝儀(¥120,000)
	2,691	預金利息(¥2,691)
収入合計	15,695,221	

項目	金額	備考
支出の部		
会場費	7,395,667	当日参加者712名(昨年実績579名)
景品費	666,375	液晶テレビ、DVDレコーダー、デジカメ他
印刷費	2,952,075	記念誌、チケット、封筒、チラシ他
活動費	928,115	広告受注、チケット販売経費他
通信費	206,250	葉書、切手、郵送料、通信費等
会議費	1,274,961	幹事会、部会経費
事務用品費	262,707	コピー用紙、インクカートリッジ、筆記具等
渉外費	357,602	吹奏楽部謝礼、広告協賛等
その他雑費	351,571	振込手数料、交通費等
納会費	882,961	
本会計繰入金	416,937	同窓会へ
支出合計	15,695,221	

平成20年3月29日
以上の通りご報告申し上げます。
静岡県立浜松西高等学校
高40回卒 同窓会幹事会 代表幹事 浜川 正宏
会計 曾布川 智

以上の通り正確に処理され適正と認めます。
平成20年3月29日 会計監査 前田 米蔵
会計監査 磯部 育夫

るほど、うれしかったことを今も深く覚えております。

なお、この日、壇上上がったてくださった還暦である18回の方々の多数のご参加も、心より感謝申し上げます。この集いを機に、今後も益々活躍されることをお祈りしております。

他、記念誌の発行にあたりましては、皆様から多数の協賛を頂くことができました。

取材、協賛の為に訪問や電話をさせていただきましたが、不行き届きもあつたと思います。この場をお借りし、改めてお礼とお詫びを申し上げます。

私達40回幹事の会合は、常に楽しく笑いのある中で行つて参りました。月に何度も母校へ足を運ぶことは、簡単なことではありませんでした。同級生一

同が浜松西高校への郷愁の想いをついに、「新春の集い」という目的に向かつて進み、当日の会の盛会で達成感を皆で共有できたことを、大変嬉しく思います。

そして、この活動を通して、同級生の繋がりを再確認できたことが一番大きな収穫なのだと思います。

二〇〇九年の新春の集いは、「平成元年卒業」の41回の方たちが幹事です。平成の新しい風が吹き込んでくるのではないのでしょうか?

今後も、この「新春の集い」が1年の飾りのスタートとなり、そして西高同窓生の皆様の今後益々のご健勝を祈念して、私の挨拶の言葉とさせていただきます。



第7回 浜西フォーラム 講師に酒井基壽氏

西高同窓フォーラムは平成二十年二月二十三日(土)コンコルド浜松で、一〇一名のご出席の元行われた。第一部は、政令指定都市浜松市の初代議長、酒井基壽様の講演をして頂きました。議長の仕事は浜松市議会の歴史の中で、西高校卒業生としても初めてです。

浜松市は政令指定都市の中で、行政改革の昨年実績は全国九番目であり、それは今まで西高校卒業生の浜松市の幹部の皆様活躍と努力が、報われた結果であります。

第二部は、ホテル内「雲の間」に会場を移動して行われました。



酒井先生の情熱的なお話で盛り上がった第一部からガラッとかわり、ピアノでの歓迎演奏を背景にして、とてもくつろいだ雰囲気ではじまりました。

開宴の言葉のあとのオープニングは、引き続きピアノの生演奏でした。奏者は浜松学芸高校芸術科講師でピアノリストの飯塚みゆきさん。彼女は同窓生ではありませんが、「音楽の街はままつ」の発展に熱い想いをお持ちの方で、高32回卒の竹内県議らが後援している関係から演奏する運びとなりました。

「千の風になつて」を中心としたメドレーが、とても耳に心地よい演奏でした。宴会中はどのテーブルも思い出話で笑顔いっぱい。そこに美味しいドリンクとバイキング料理が花を添えました。フィナーレは、「2009年新春の集い」の代表幹事を務める近藤秀樹さん(高41回卒)のリードによる応援歌斉唱でした。現役時代は応援団だった近藤さんの熱いエールで締めくくられました。来る一月二日は、また大勢が集まりましょう。

高8回古希のついで 恩師三氏を迎え総勢60名

高8回はまとまりの良い学年で毎年一月二日に行われる「新

春のつどい」には、毎回30人以上が出席し、3テーブル用意してもらっている。また、高8回だけでゴルフの会を作り、毎月1回例会を持つている。その他、偶数月に誰でも参加できる飲み会もあり、居酒屋で情報交換を楽しんでいる。東京にも高8回の会があり、年に数回会合を持つている。十年前の還暦の時には、全国に散らばっている仲間呼びかけて58人が集まった。今回の「古希のつどい」にも全員に声をかけ、全国から60人の仲間が集まった。

古希を迎え、人それぞれに年



輪を重ねる風格も増したが、この日ばかりは皆学生時代に戻って、楽しそうに歓談したり笑いあったりした。私たちの学年は2年生の時に校舎を消失し、体育館を間仕切りした校舎で学んだ経験を持つている。庄内半島からはポンポン船で通った生徒がいたし、汽車の沿線の生徒は浜松駅まで汽車に乗り、あとは歩いて学校まで通った。その他の大部分の生徒は、自転車か徒歩だった。雨のひどい時ぐらしかバスには乗れなかった。

昭和29年から31年というまだ日本の貧しい時代だったが、みんな力の限り勉強や運動に青春をぶつけていた。

この次みんなで集まれるのは、多分喜寿の時だろうと思っっている。(高8回 牧田巨弘)

高10回卒業50周年 記念同窓会

平成十九年九月三十日(日)高10回卒の卒業50周年記念同窓会が、グランドホテル浜松で87名もの出席者をえて、正午より盛大に催された。記念写真撮影後、同期生宮崎澄さん指揮による「ハーモニカバンド」松ぼっくりの「高校三年生」の演奏に乗って会場に入場した。

司会の高部守弘さんの開会宣言に続き43名の同期生の物故者

に黙祷をした後、幹事代表の相曾明夫さんが「二期一会を大切に」と挨拶した。水野克弘さんの乾杯の後、受持だった杉山秀夫先生、河合九平先生、上山一雄先生、伊藤久雄先生のご健在な四先生全員の心のこもった挨拶があった。

歓談に入り、お互いの現在の生活や昔話に花が咲いた。二時より余興の正調安来節男踊り、平たく言えば「どじょうすくい」を石神孝治さんが踊った。こっけいな仕草に満場大爆笑、会場の雰囲気は最高に盛り上がった。

三時影山浩三さん指揮による応援歌斉唱、さらに鈴木正剛さんの一本メ、白柳俊司さんの閉会の挨拶と続き、次回2年半後古希の祝いをすることを約束し、楽しい幕を閉じた。そして、二次会へと流れていった。



第32回浜松西高同窓ゴルフ大会

優勝は一般の部服部泰啓さん(高27回) シニアの部初瀬正幸さん(高7回)

『神通力』まさに、前日の嵐のような大雨、同窓各位の一念が天に通じたかの如く、その日の朝、風こそ強めではあるものの、初夏の太陽が私達を迎えてくれました。

平成二十年五月二十日(火)、第三十二回浜松西高同窓ゴルフ大会。ご多忙にも関わらず、急遽、ご参加頂きました、元駒沢大学野球部監督太田誠(高7回)さんをはじめ、二二〇名を超える同窓生が、浜名湖カントリークラブに集まりました。

競技の厳しさの中にも、同窓という暖かな空気に包まれ、大きな風力発電のプロペラが廻ると、「浜名湖」「中」「潮見」三コースで、熱戦が繰り広げられました。競技と併行して、「ダンロップ」「横浜」「ブリヂストン」各メーカーのご協力で行なわれた、試打会も、多くの皆様に楽しんで頂けたものと思います。

さて、強めの風を敵にまわすか、味方につけるか、はたまた、『神通力』を発揮出来たのか、競技結果は、以下のとおりです。

■一般の部 (敬称略)

- 優勝 服部泰啓(高27回)
- グロス 83 ネット 69・8
- 準優勝 門田伸行(高30回)
- グロス 80 ネット 70・4

■グランドシニアの部(敬称略)

- 第3位 溝口正泰(高11回)
- グロス 86 ネット 70・4
- 優勝 初瀬正幸(高7回)
- グロス 88 ネット 70・0
- 準優勝 牧野守勝(高8回)
- グロス 77 ネット 72・2

第3位 松本甲一(高8回) グロス101 ネット72・2
また、シヨートホールでのワンオンチャレンジのチャリティー募金の浄財(10万円)は、昨年度に引続き、浜松市の『はままつ夢基金』に寄付させて頂きました

ことをご報告申し上げます。最後に、ご参加頂きました同窓の皆様、多大なるご厚志を協賛頂きました皆様に、篤く御礼申し上げますとともに、この大会が末永く後輩の皆様へ引継がれていくことを、お祈り申し上げます。(幹事 高29回一回)



対浜松北高OB定期戦

野球 今年北高に大勝!

平成二十年四月二十日(日)「第30回浜松西高校対浜松北高校野球部OB定期戦」が浜松市営球場において開催されました。

昨年雨の為中止となつて迎えた今年、前夜の雨が程よいグラウンドコンディションを造り、天候にも恵まれ、40歳以上17名、39歳以下9名の選手に加え、多くの観戦者の応援の中、午前9時に両校のOB会長さんの始球式で試合が開始されました。

13勝13敗3分で迎えた今回でしたが、まず40歳以上の対戦では1回の表、先頭バッター最年長の喜寿を迎えられた鈴木晃(高2回)のレフト前ヒットを皮切りに2番藤田睦夫(高13回)もレフト前に続き、それを足がかりに1点を先制しました。2回以降も水村辰也(高34回)、中野春治(高35回)の連続2塁打や細川正樹(高39回)のフェンス上のネット直撃する大飛球など相手を上回る猛打爆発で得点を重ねました。投げては藤田睦夫(高13回)安達俊一(高24回)の投手リレーやセカンドゴロを捌く鈴木晃(高2回)の好プレーなどで北高打線を1点に抑え。前半を9-1とリードして後半にバトンタッチしました。5回以降は39

歳以下の対戦となり、スピードとパワー溢れるプレーが随所に見られました。マウンドに上がった飯田吉伸(高45回)の速球を打ちあぐむ北高打線を尻目に、西高打線は波多腰賢司(高44回)、山本満春(高45回)、山本裕介(高54回)などの活躍で追加点、「浜西のカブレラ」こと鈴木彰人(高56回)や大学での活躍を指す飯田将利(高59回)も今回はOBの一員となり元気なプレーを見せてくれ、その結果18-3という大差で勝利を収めることができ、対戦成績を14勝13敗3分としました。

サッカー 第三十三回定期戦結果

現役A戦	浜西 0-0 浜北
現役B戦	浜西 0-4 浜北
60歳以上戦	浜西 1-0 浜北
45歳以上戦	浜西 1-3 浜北
30歳以上戦	浜西 1-0 浜北

一年に一度、先輩後輩の枠を超え、ユニフォームを着て白球を追う事を楽しみにしている人は多いわけですが、20歳を迎える大学生から喜寿を迎えられた大先輩までさまざまな想いや思い出を胸に大粒の汗と笑いの絶えない会話、大きな歓声と楽しい時間を怪我無く過ごすことができ、皆様に感謝、感謝でありました。(高32回渡辺 淳)

見どころは、やはり真剣勝負の現役戦である。新人戦に向けてのレギュラー争いは熾烈そのものであり、ライバル校にはお互いに負けられないという意地がぶつかり合う。また、若手OB戦もかなり白熱した試合内容となり、見応え十分である。さらに、かつて輝かしい実績を持った往年のプレーヤーたちの奮闘ぶりも見逃せない。最後に、中等部生の高校一年生に対する勇敢果敢な戦いぶりにも注目したいところである。つまり、この定期戦は見どころ満載なのである。ぜひ、多くのOBの参加・応援を期待したい。(高33回山崎晴久)

18歳以上戦 浜西 1-1 浜北
西高等部対北高現役C 浜西 1-2 浜北
三十三回の西北戦を振り返って昭和五十年からスタートした浜松西高校対浜松北高校サッカー部OB定期戦も三十三回を数えるに至った。対戦成績は十六勝十五敗二分けと浜松西高校が一勝リードしている。

例年この定期戦は、八月第一日曜日にお互いの高校を会場に実施してきたが、最近では、遠州灘海浜公園球場を会場にしている。現役A・B戦と若手のOB戦、二十五歳以上・三十五歳以上・五十歳以上の年代別の試合、さらには浜松西高校中等部対浜松北高校一年生の試合、合計七試合が行われ、総合成績でその年度の勝敗を決している。

叙勲の人

平成19年秋の叙勲

- 旭日重光章 河島喜好(中17回)
- 瑞宝小綬章 河合唯男(中17回)
- 旭日双光章 伊藤秀男(高3回)
- 瑞宝双光章 名倉正雄(高5回)
- 平成20年春の叙勲
- 瑞宝双光章 廣野光美(高5回)

瑞宝小綬章

河合唯男(中17回)



平成19年秋電気通信事業功労により瑞宝小綬章受章の栄に浴しました。この栄誉はひとえに同窓の皆様のおかげと支援の賜物と心から感謝している所であります。

西山台の「智」「仁」「勇」、陸軍士官学校の将とは「智」「信」「仁」「勇」「嚴」なりとする人間形成教育に支えられたお陰と申しております。

陸軍航空士官学校在学中終戦、その後、通信省・電気通信省・電信電話公社と38年間電気通信事業に携わらせて頂きました。直ぐつぐ電話、全国ダイヤルひとつで直ぐ繋がる電話の達成。沖縄復帰に伴う九州宮崎と沖縄本島知念間900kmの海底同軸ケーブル建設・青函トンネルと

本州四国連絡橋3ルート通信ケーブル添架・御前崎から約250km沖への海底地震計設置など多くの思い出があります。今後はこの栄誉に恥じることの無いよう、些かなりとものご芳情に報いたいと存じています。

旭日双光章

伊藤秀男(高3回)



家族や健康に恵まれて

私が「家族に恵まれ」と云ったのは、8月に急逝した弟と、仲良く歯科医療に携わってきたおかげだと思ひ、心から感謝している。現在、甥の慎一(42回卒)が、父の意志を次いで、一緒に頑張ってくれている。湖西市教育委員会の方々に支えられ、県の教育委員会に關係したすばらしい友が同級生に居た事が、何事につけても心強く、励まされ、助言を頂いてきたことが、長く務めてこれたのだと思う。県の教育長、副知事を歴任された、庄田武君。県の教育委員長をなさった鈴木富士男君、糟谷勝一君。そのほか、各界で活躍された人も多く、6年間、一緒に、西山台で学んだ同級生に、すばらしい人達がいた事は、私の人生の宝だと、常に思っている。

瑞宝双光章

廣野光美(高5回)



今回の叙勲は私の教職経歴に

対するものであった。他人より際立ってぬきんでている功績は何もないが、自分の経歴を振り返るとき、英語教育へ費やしたエネルギーはかなり大きい。高五回の私たちは、国民学校へ入り、五年生で敗戦を迎え、新制中学校へ入り、高校へ行くときには小学区制を経験するという世代であった。きちんとした英語教師は中学校にいず、入試の科目にも英語はなかった。私の力は惨たんたるものだった。その私が変形文法の英語教育への応用という実践をし、論文まで書いたのだから、野村、上山、坂田の諸先生は、さぞかし、びっくりされるに違いない。でもそのきっかけは西高時代にある。それにしても、同窓生はありがたい。浜松市教育委員会時代には、教育長は河合先生で、同級生の根本、竹村、野口君などが、市の部長や、課長を務めていて、どれだけ助けられたことか。私に教育行政への貢献があるとすれば、その人たちのおかげでも

随筆

私にとつての西山台



庄田武(高3回)

私は昭和20年、敗戦の年4月、旧制浜松二中へ入学した。満開の桜が美しかった。担任の先生の最初の訓話は「中学生になったら沢山本を読め」、「世の中は自分の思うようにならないことを知れ」だった。中学生になったんだという喜びを強く感じたことを覚えている。以後6年間(途中学制改革で高校になった)戦後の混乱期を西山台で過ごすことになった。いい先生や友達に恵まれた。戦時中の勤労動員や戦後の貧困時代を共に体験した同級生とは一種の戦友的な仲間意識をもつようになり今日まで親しく付き合っている人が沢山居る。

敗戦直後の学校は窓ガラスは破れ、グラウンドは畑になって運動もできない。先生は足らず生徒は教科書、ノートもない、ともに授業もできないひどい生活だった。それ以上に困ったのは敗戦を境に価値観が大転換したことだ。何が正しいか、どういう行動をすべきか誰も分からないまま、放埒な生活に明け暮れた。しかし戦後の解放された自由の気分は格別だった。戦時中禁止されていた文学、映画、音楽、美術、スポーツが解禁になり学校でのスポーツ、文化活動はまさに百花繚乱の趣だった。誰からも勉強せよと言われないのをい、ことに私は専ら草野球に興じ、映画に心を奪われ、講談、三文小説、純文学等の乱読にうつつを抜かしていた。優秀な連中はよく勉強していた。中には三木清の「哲学ノート」、西田幾太郎の「善の研究」などを読んで議論を楽しんでいる者もいた。私もたまには社会科学の本をかじってこの連中に対抗しようとしたが所詮付け焼刃で不勉強の惨めさをいやという程味わった。映画「カサブランカ」で愛国心を刺激され、「自転車泥棒」で貧困の哀れさと親子の情に胸を打たれた。「アメリカ交響楽」、「カーネギーホール」で音楽の楽しさを味わった。中でも「オーケストラの少女」はディアナ・ダーヴィンの可憐さもありクラシック音楽へ目を開かされた。

戦後という特殊な時代背景もあったが、読書でもスポーツでも夢中になってとりくんだ6年間の西山台での生活は、私の人間形成の基盤になったような気がする。学問の尊さや自主自立の重要性をさりげなく教えてくれた先生や、多くの個性的な友人との出会い、雑食的な読書や思考による知的好奇心の芽生え等、その後の人生にかけがえのない心の糧を与えてくれたと沁みじみ思っている。

ブラジルで夢を生きる

佐々木正夫(高7回)

澄み切った青空、果てしなく緑の山並が続くブラジルの大自然の中で、隣国ウルグアイの大草原のような大草原の中で、1個が25トンもある御影石の原石を時には数百個も石切り場で厳しい品質検査をした上で買取り、それらを日本、中国、米国等に輸出する商社を立ち上げてから25年、南米では唯一の石材輸出業者として毎日内容の濃い仕事にチャレンジしています。

こうして輸出された原石は日本、中国で加工され高層ビルなどの外壁や内装に使用されています。日本でも私が取り扱った石を使用した建造物も多く、みなとみらいランドマークタワー(横浜)、国際フォーラム(有楽町)、NHK(大阪)などのビルがあります。

新しい石を求めて、アルゼンチンのパタゴニア地域、ボリビアのアンデス山脈の麓、アマゾン



ンの密林等を歩く時に、西高時代の夢が今実現していることの幸福感に充たされます。

また或る時には幸運の女神に微笑まれ、光学レンズメーカーが喉から手が出るほど必要としている希少金属がアマゾン上流にある錫鉱石の廃鉱山でその用途がわからないまま、放置されていることを発見。早速現地に飛び調査の結果、それが世界でも稀に見る高品質の鉱石、しかも水はけが良いので、滑走路、道路やサッカー場に使用されていたものを、日本の一流金属メーカーと契約、数年間に亘り、それを掘り返し、水で洗うだけで輸出。この話を聞いた日本の大手商社数社が駆けつけた時には後の祭り。アマゾンの大空の下でひっきり返って笑いこけたような出来事も南米ならではの話です。

日本向けの墓石用黒御影石を探して、アマゾンを横切り世界で一番高いエンジェルフォール(注・滝)のあるベネズエラのギアナ高原を横切りカリブ海まで数千キロを4駆で走り抜けるなど、仕事と夢を追いながらどんなに危険と思われる場所にも入って行けるのも西高柔道部、その後、講道館で鍛えた頑張り精神のお陰でしょう。

南米にはまだまだ青春の夢を追って毎日新しい何かにチャレンジしながら生きることが可能な機会が数多くあります。

南米諸国では日本人は約束を守る、真面目だと言うことで非常に高い評価を受けています。日本人なら信用しようと言う人たちが非常に多いことも忘れてはなりません。また底抜けに明るく、楽天的で、人の良いのもラテンアメリカ人の特徴です。

メキシコからアルゼンチンまで、ブラジルも含め全部スペイン語で通じます。スペイン語はローマ字が読めれば読むことが出来るので、日本人にとっては一番マスターし易い言語です。スペイン語を習得したら間違いない、次はアンデスの峰に立つて目の前に広がる南米の大草原に向け思い切り放尿するのが夢になる筈です。

佐々木正夫氏プロフィール
上智大学スペイン語学科を卒業後、数年間東京の食品専門商社に勤務しましたが、安月給で苦しかったこと、南米行きの夢を棄てられなかったことから、一九六三年ブラジルに移住、現在に至っています。

漫画家の水野良太郎君、野球の太田誠君とは西高で3年間ずっと同じクラスでした。一番お世話になったのは河合先生。一番苦手だったのは化学、物理の村石先生でした。

還暦一〇〇人「故郷」に集え!



伊藤 孝(高19回)

人。ほとんどがクラス替えもなく、三年間鶴田学級で育ちました。先生からの我々生徒をみる温かい眼差しが今でも忘れられません。

クラスが「蚊帳」、学年が「家族」、西高が「故郷」だったような気がします。

不揃いの林檎達が、実社会に出て、もうすぐ四十年を経ることになります。

ぶつかったり、寄り道したり、挫折したり、惑うことだらけの今迄でした。志半ばで生涯を終えた仲間もいます。

でも、この国を、この故郷を懸命に愛し、尽くすことの大切さを、教えてくれたのも、西高であり、恩師であり、仲間であったのではないかと、今ふり返って思っています。

さまざまな当時のエピソード、たくさんのお出来事がありました。だがしかし、時間の経過と共に、濾過され、美化されて記憶の中にしまい込まれていくような気がします。

来春、浜松西高「新春の集い」会場にて、還暦仲間一〇〇人集合、舞台の上で元氣よく「鏡割り」をするつもりです。

また、お会いしましょう。

学校後援会長

株式会社林工組代表取締役社長

愛をもつて打て！

スズキ コージ



鈴木康司 (高18回)

荒地派の詩人の田村隆一氏に鎌倉で三十年前に会ったとき、「静岡県は、二番手のB級県のところかヨロシイ！」と賛美の言葉を聞いて、浜松西高と似ているなと思っていた。

僕の西高時代は各個人の特性を生かして磨く精神の風が吹いていて、飄々とした先生や生徒が多く存在し、その一人が僕だった。

人間は十八才で進むべき道が決定し、それからは肉づけ、補強の人生になってゆくのだと、つくづく思う。

この西高時代に「僕は一生絵を描いていくだろう」と確信した訳だからありがたい。当時実存主義かぶれの同級生の友人が「浜松城近くに竹内仙

人という人が道場を開いているので今から逢いに行きまいか」と出かけていくと、役者の宇野重吉を若くしたような白髪のお爺さんが四畳半の板の間道場に居て、名刺をくれた。それには、「聖徳太子剣法秘伝」と書いてあり、すぐさま僕等二人は竹内仙人の弟子？ になってしまい、浜松城下の広場で、木刀を渡され素振りの稽古が始まった。

「敵を打つときは愛をもつて打て！」の精神で木刀を振り下ろす時「アイツ」と叫び、足はタコ足で自由自在にあちこち走り回る剣法なので、真剣になればなるほどかなりおかしかった。けれどかなり熱い竹内仙人の指導の下、真面目に励んでいると、何事かとまわりに見物人が集まっていた。

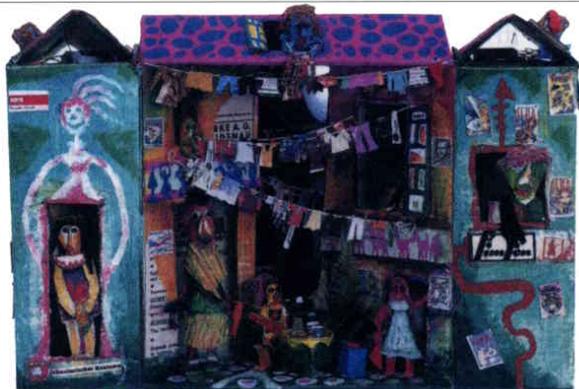
ある日、同じく弟子になった相棒の部屋でシャンソンのジュリエット・グレーゴなどのレコードを聞きながらコーラを飲んでみると白い麻のスーツを着た竹内仙人が突然やって来て「今から十五分座禅」と言われてこれが一時間位に思えてシビレテしまった。

その後、竹内仙人は「君達と、高校卒業後私の友人であるタイの皇太子経由でタイの山奥で(全世界に愛の鐘を打ち告げる

塔)建設第一次派遣隊として送り出したいと思っているのだから考えてみてください」と告げて去っていった。

(結局、僕等は卒業後東京へ向かったのだが)あの時僕等がタイに送り込まれていたら、どんな人生になっていったんだろうと考える。

スズキコージ氏プロフィール
創作絵本、画集、マンガ、映画や演劇のポスター、舞台装置や衣装、店の看板やマツチ箱、壁画など、幅広いジャンルで活躍中。
二〇〇七年 浜松市より『浜松ゆかりの芸術家』として顕彰されている。



『センタクアパート』

「考える」教育を目指して

倉橋義郎 (高19回)

私が学習塾の仕事を始めて、早や四十年近くになります。学習塾というところは誰でも自分の考えで、自由に設立できますし自由に運営できます。私の場合は、生徒に分からないところを質問させたり、考えさせたりすることで進学を果たそうと考えて設立いたしました。その間たくさんのお児童生徒とめぐり合い共に学んでまいりました。

いま、日本における高校や大学の受験問題を見るにつけ、以前にも増してパターン化された出題が多くなっているような気がいたします。週休二日制やゆとり教育の影響で教科内容が削減され、結果として出題範囲が狭くなっていることもそれに拍車をかけているようです。そうなると受験生はこれに迎合する形で、語句やパターンの暗記をすることを勉強の中心におくよ

うになります。こうして暗記力に優れた者がより偏差値の高い学校に通い、やがて社会の中心になっていく・・・手間暇かけず、深く考えもせず、結果だけを求める。こんな人間が増殖されているような不安を抱くのは私だけでしょうか。

実はこれと対極にあるのが、フィンランドで行われている比較や競争とは無縁の「考える」教育です。ではなぜフィンランドでそのような教育が行われているのでしょうか。それは第二次世界大戦後長い間当時のソ連に国の支配権を奪われ、厳しく自由を束縛されたという苦い経験をしてきたからだそうです。それを二度と繰り返さないために、彼らは子供達に「考える」教育を導入し、知恵ある子供に育て、知の力をもって国を守る方法をとったということです。まさに国をあげて取り組んだ結果なのです。



人は「考える」時にも記憶します。脳内では記憶したものを使って答えを出そうとあれこれ試行錯誤を繰り返してやがて「分かった」という歓喜の瞬間をむかえ、考えが成就し終わります。慶応大学の佐伯胖教授は、「分かった」という感情は、脳内のいたるところに整合性ができた

証なんだと語っています。「考える」ことは日常生活のなかで半ば無意識的に起こっています。会話も相手の言っていることや自分のしゃべった内容を一方で記憶し、一方でこの場で次に何をしゃべることが適切かと無意識に考えていますし、読書についても読んできた内容を記憶すると同時にそれを使って場面場面でも無意識に考えながら読み進めていきます。

私は、一昨年、縁あって大井川の河口近くの吉田町に通信制単位の高校を設立致しましたがこの取り組みも先に述べたことの延長線上にあります。つまり、分からなかったところ、つまづいたところにまず立ち返りそれを暗記して終わらせるのではなく、極力自分の頭で考え納得して進んでいくことをモットーにしています。

さて、教育界全体に目を向けますと教育制度やその仕組みなどについてはさかんに議論されますが、ここで述べた思考の重要性については話題にも上りません。教育の重要性については皆十分すぎるほど認識しているのですが、長い間続けてきた「教育を変えていく」ことは、フィンランドの例を見るまでもなく社会を変えるに等しい取り組みなのですね。

国際化が現実のものとなってきました。こういう時だからこそ、暗記に頼って平均点を上げ

る教育を目指すのではなく、思考の重要性を加味した教育こそすべきだと思うのです。

倉橋義郎氏プロフィール

明治大学商学部卒業
愛知大学大学院修了

株式会社クラ・ゼミ代表取締役
平成18年 通信制・単位制高校「クラ・ゼミ輝高等学校」を設立。
平成19年 ブラジル人学校「イーエース」グループ5社の経営権を取得。

現在学習塾としては静岡県に29校、愛知県に17校の校舎を展開し、代表者として会社経営に携わりながら、一方で自ら教壇に立ち小中高一貫教育を実践している。

ヨハネスブルグに

赴任して

工藤 幸徳 (高41回)

朝陽に照らされる南アフリカの大地を初めて見たときの感動、広大な大地の前に、「自分に何ができるのだろう」と不安と期待を胸に抱いて3年前に赴任したのを今でも覚えています。



私が日本人学校への勤務を考えたのは、海外の教育事情を知りたいという思いや日本文化との違いに直接触れることのできる喜びを感じたいと思ったからです。それ故、在勤中は、日本人学校での教育の充実を図るために、現地をより深く理解するための活動をしようと考えました。

ヨハネスブルグでの生活で、まず目に飛び込んできたことは、日本と同様の交通渋滞でした。私の持っていたアフリカのイメージを払拭するかのような車の量、大きなショッピングモール、立ち並ぶ大きな家々：しかし、各交差点には物乞いをする人々、少し街を離れると壊れそうなバラックに住む多

くの黒人：近代的な街とは対照的なその光景にも強く驚かされました。

日本人学校では、海外にいなからにして日本と同等、もしくはそれ以上の教育を受けられる事がメリットと考えます。しかし、ヨハネスブルグの治安は現在、悪化の一途をたどっているため、子どもたちは自由に外を歩けないのが現状です。

犯罪件数は日本の百倍以上を記録し、日本人学校をはじめ各家庭には、高い塀の上にエレクトリックフェンス、窓には鉄格子がはめられています。

そんな中、子どもたちの運動する場の確保には、保護者からも強く要望がありました。そこで、土曜日に子どもサッカー教室を立ち上げることを保護者と共に行いました。活動開始時より多くの支援・支持を受け、赴任3年目の時には、日本人会のクラブとして正式に認められるほどになりました。

また、私自身が、黒人居住区の子どもたちに将来の夢などをインタビューしたり、サッカーの指導を行ったりとより多くの子どもたちに触れ合う機会をとりました。

さらに、大きな問題の一つである HIV/AIDS について、支援団体やエイズ孤児院を訪れる中で、お互いに助け合う姿を見たり、サポーターグループのリーダーとして頑張っている人々に

出合い話を聞いたりしました。南アフリカの格差のある厳しい現実を目の当たりにした驚き以上に、生活改善を目指し草の根で頑張っている現地の人たちが大勢いることも知りました。

このような人たちとの出合いが国際交流を深めていく一歩だと感じるとともに、日本の子どもたちにも広く世界を見据える力を育成していけるよう努めていこうと思えました。

(現在、浜松市立尾奈小学校教諭)



部活報告
中等部吹奏楽部
第31回全日本アンサンブルコンテスト金賞!

今年三月二十日にさいたま市文化センターで行われた、第31回全日本アンサンブルコンテスト中学の部に、浜松西高中等部の木管五重奏が出場しました。

一月一四日の県大会、二月九日の東海大会を最優秀賞で通過した五人は、全国大会の重圧をはねのけ、見事金賞を獲得しました。メンバーはオーボエの神農広樹君と鈴木明日香さん、田中麻優さん、ファゴットの新村彩華さんと瀬瀬優香さんです。神農君と鈴木さんは、第30回全日本アンサンブルコンテストでも金賞を受賞しています。



《神農君のコメント》

私たちは、今年の3月末に行われた「全日本アンサンブルコンテスト」で、金賞を取ることができました。二年連続で金賞を受賞することは本当に大変なことでした。しかし、五人の間と力を合わせ、苦しい練習も乗り越え、見事大きな榮譽を手にすることができました。音楽という分野で浜松西高の名を全国に広めることができ、西高生として本当に幸せです。これからも、吹奏楽部の応援をよろしくお願いします。(神農 広樹)

中等部女子テニス部
東海大会三位・全国大会出場

中等部の女子テニス部は、第56回(平成19年度)東海地区中学生テニス選手権大会において第三位に入賞し、全国大会に出場しました。そのときの主力選手だった高田千奈美さんは、今年度(平成20年度)、高等部に入学、女子テニス部のエースとして活躍し、団体戦県三位に貢献しています。また、中等部の女子テニスは、今年度も全国大会への出場を決めています。

《高田さんのコメント》

中学生最後の年だった昨年の全国中学生大会では、念願の団体戦初出場を果たし、ダブルス

ではベスト8に入ることができました。団体戦では、保護者や部員の応援で、チームが一つにまとまったことを実感しました。しかし、シングルスでは思ったような結果を出すことができず、目標を達成することができませんでした。悔しい思いをした分練習に励み、今年のインターハイ予選ではシングルス県三位になることができて、夢だったインターハイ出場を決めました。そして、今回もやはり周りの応援が大きな力になりました。苦しい時、応援がどれだけ自分の力になったかわかりません。六月の東海総体も八月のインターハイも、支えてくれる人たちへの感謝の気持ちを忘れず、一年生らしく思い切ったプレーをしたいと思っています。(高田千奈美)



平成19年度 中等部女子テニス部

中等部女子卓球部
新人県大会優勝・全国大会出場!

平成19年度中体連県大会で、3位に入賞した中等部女子卓球部が、新人戦では浜松市大会県大会ともに優勝し、全国大会に出場しました。

《山口瑛梨さんのコメント》

私たちは初めて全国大会というものを体験しました。そこで知ったことは、全国には自分たちよりも、さらに上のレベルがあるということ。実力はちろんですが、礼儀や試合中の集中力、声の大きさなど、とにかく学ぶことがたくさんあります。

高等部柔道部
60kg以下級県大会優勝!

《鈴木太君のコメント》
 今回晴れて念願であったインターハイ全国大会に出場することができ、嬉しく思います。中学時代も県大会で優勝して全国大会へ出場させて頂きましたが、全国大会を目指す仲間の殆どが強豪校に進学していききました。現在、西高柔道部員は男女計六名。普通にやっていたらまずインターハイは望めなかったでしょう。西高で研究し模索した技術を出稽古で実践するという独自の練習を行わせて下さった顧問の藤田先生はじめ、部員の仲間達には本当に感謝しています。東海大会は4県のトップ2



た。見学した決勝戦のプレーは今も心に残っています。全国という舞台に立てたこの感動を胸に、また全国大会で戦いたいと強く思いました。

が全国大会は47各都道府県の1位が相手となる厳しい戦いですが、支えてくれた方々の為、そして何より自分の為の一つでも多く上に行きたいです。



平成19年度クラブ成績一覧表

【高等部】

Table of club performance for the High School Division. Columns include categories like 陸上 (Track & Field), 水泳 (Swimming), 野球 (Baseball), サッカー (Soccer), 男子バスケット (Men's Basketball), 女子バスケット (Women's Basketball), 男子テニス (Men's Tennis), 女子テニス (Women's Tennis), ソフトテニス (Soft Tennis), 卓球 (Table Tennis), 柔道 (Judo), 剣道 (Kendo), and 弓道 (Archery). Rows list specific events and results across various competitions like 静岡県高校総体, 県大会, 東海大会, 全国大会, 高校新人大会, and others.

Summary table for the High School Division. Columns: 地区大会に準ずるもの (Qualifying for Regional), 県大会に準ずるもの (Qualifying for Prefectural), 全国大会に準ずるもの (Qualifying for National). Rows: 吹奏楽 (Band), 百人一首 (100 Songs), 写真演劇 (Photo Drama).

【中等部】

Table of club performance for the Middle School Division. Columns include categories like 陸上 (Track & Field), 水泳 (Swimming), 野球 (Baseball), サッカー (Soccer), 男子バスケット (Men's Basketball), 女子バスケット (Women's Basketball), 男子テニス (Men's Tennis), 女子テニス (Women's Tennis), ソフトテニス (Soft Tennis), 卓球 (Table Tennis), 柔道 (Judo), and 剣道 (Kendo). Rows list specific events and results across competitions like 浜松市大会, 県大会, 東海大会, 全国大会, 浜松市新人大会, 県新人大会, and others.

Summary table for the Middle School Division. Columns: 地区大会に準ずるもの (Qualifying for Regional), 県大会に準ずるもの (Qualifying for Prefectural), 全国大会に準ずるもの (Qualifying for National). Rows: 吹奏楽 (Band), 弦楽 (String), 科学 (Science).

http://www.hamanishi.org

イギリス語学 研修を終えて

平成19年7月21日～8月5日
男子14名、女子22名 合計36名
参加



研修先 イギリス南部カンタベリー「コンコルド・インターナショナル」

カンタベリーの街を初めて歩いた日、カモメの飛び交う姿に「ここは宮崎駿の世界ですか」と叫んだ生徒がいました。街の中心に大聖堂があり、シヨッピングモールを歩いていても、ふとした時に厳かなカンタベリー大聖堂の姿が現れます。中世における英国の精神的拠点であった大聖堂が、近代的な町並みに何の違和感もなく佇んでいる様子が印象的でした。「永住したい」という声もあり、その言葉に素直に共感できる美しい街でした。

コンコルド語学学校の先生方の情熱、また発想の豊かさにも感心しました。英語を母語としない数百人の若者が一緒にボーリングをするという遊びの企画がありました。グループの数もレーンの入る時間もうまく伝わります。また一度もボーリングをしたことのない生徒もいるようです。スペインの女の子だったと思いますが彼女の両手で投げた球がふわりと浮いて、ドスンと音をたて隣のレーンに。日本なら事件でしょう。それでもここではみんなが屈託なく大笑いして、結果としてはそれぞれのお国柄が分かり楽しい一日となりました。

結団式で何人かの生徒が「自分を変えたい」と研修にかける思いを語りました。直接には表現しなくても、全ての生徒が何等かの形で新しい自分を見つけようとしていたようです。授業の最終日、ジャパニーズナイトというイベントを行いました。日本の伝統文化を料理と共に楽しんでほしいという企画ですが、何人集まるか心配しましたが、大勢のお客様がきて不安は杞憂に終わりました。皿回し、お手玉などに欧州の若者たちは大喜び。また予期せぬ人気は書道です。あなたの名前を日本語（ひらが

な）で書きます、というところを押すのが大人気。また食べ物での人気は寿司。「Do you know sushi?」という「Yes」の大反響。生で魚を食べる文化の広がりも理解できました。また団長の中野翼くんが「in Tubzal」というと、これも尋常でない反応が。あとで聞いたところアニメ『キャプテン翼』の影響であるとのこと。サブカルチャーの発信地、クールジャパンを肌で感じます。このパーティで日本の食べ物を紹介したのは「自分を変えたい」と最も直接に表現した副団長の女子二人でした。

言葉のままならぬホームステイ先での体験、クラスメイトとの出会いなど研修中の様々な出来事を、おそらく彼らは一生忘れることはないと思います。一人のホストマザーが別れ際に言いました。「素晴らしい生徒です」と。実りある、充実した研修であったと報告いたします。

引率教諭 邑田聡一



影山久茂先生（高25回）

4月中旬の小雨が降るなか、影山先生の勤務先を訪問して参

りました。影山先生は、この4月に静岡県立浜北西高等学校に赴任されて、現在教頭を勤めています。

浜松西高には昭和62年から平成7年の9年間、国語科教員として勤務されていらっしゃいました。当時は丁度、重厚な旧校舎から明るい快適な新校舎への移行の時期で、その両方を知ることができたとおっしゃっていました。教員生活の思い出としては、私たち41回生が卒業するときの予餞会で職員劇をされたことで、その時の主人公は森田明宏先生。影山先生が生徒会顧問ということもあり、脚本・演出を担当されたそうです。「劇に応じてくれるほど先生方が一致団結していました。教科旅行があったり、赴任してすぐ新学期早々泊まり込みの学年会議があったりと大変熱心だった。」と当時を振り返っていらっしゃいました。

恩師訪問

ルスカルで国体で優勝したり、シングルルスカルで全日本で優勝した選手もいたそうです。ポーター部の話を聞いて学生時代たくさんさんの部活が激励されている壮行会の様子が思い出され懐かしくなりました。

先生は、高25回卒として16年前に新春の集いの幹事も担当されたそうです。その時のキャッチフレーズは「今日は復活祭、懐かしい友と新しい自分に会える。」「幹事をやることでより同期の結束が深まる。頑張ってください。」と西高の先輩としても励ましのお言葉をいただきました。

帰りに「彗星」という本をいただきました。先生は執筆活動もされていて、この中でも「石岡 雲」というお名前前で作品を出されています。情景描写が鮮やかで少し胸がきゅんとなるような素敵なお話でした。

今回この取材を通して、学生時代とは違ったお話をたくさんお聞きすることができて、大変楽しい時間をいただくことができました。勤務後の遅い時間にもかかわらず、お忙しい中本当にありがとうございます。新春の集いで38HRのメンバーはじめ、41回卒みんな先生を御待ちしております。

(高41回 西澤 位知子)

平成19年度入試結果概要

今年度、中等部入学生（4クラス）が高等部入学生（1クラス）とともに初めて大学へ進学しました。志を高く持ち、果敢に挑戦した結果です。同窓生の皆様にはまたいろいろな面でのご支援の程をよろしく願います。

入試合格状況

	平成19年度			平成18年度			平成17年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
国公立大	106	21	127	95	14	109	83	22	105
私立四大	342	60	402	328	73	401	371	114	485
管外大学	0	0	0	1	0	1	0	2	2
各種専門学校	2	0	2	2	0	2	2	1	3

私立大学名 (主要大学)	平成19年度			平成18年度			平成17年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
青山学院大学	7	0	7	2	2	4	3	5	8
学習院大	1	0	1	1	0	1	1	1	2
北里大	4	1	5	0	1	1	2	2	4
慶応大	4	2	6	2	2	4	3	3	6
国学院大	2	0	2	0	0	0	0	0	0
国際基督教大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
芝浦工大	10	2	12	11	3	14	3	1	4
上智大	5	1	6	0	1	1	0	1	1
順天堂大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
専修大	7	2	9	0	1	1	7	1	8
成城大	1	0	1	0	0	0	8	2	10
中央大	5	4	9	12	3	15	3	4	7
津田塾大	6	0	6	0	1	1	1	0	1
工学院	0	0	0	6	0	6	1	1	2
東京女子大	4	1	5	4	0	4	2	0	2
東京農大	5	0	5	7	2	9	6	7	13
東京理大	16	5	21	8	6	14	14	5	19
東洋大	0	0	0	6	0	6	1	2	3
日本大	10	0	10	5	0	5	12	7	19
日本女子大	0	0	0	3	0	3	5	0	5
日本獣医畜産大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法政大	13	7	20	10	4	14	11	9	20
武蔵工大	3	0	3	3	0	3	6	0	6
明治大	21	1	22	15	1	16	8	4	12
明治学院大	6	1	7	3	1	4	9	5	14
明治薬科大	1	0	1	1	0	1	1	0	1
文教大	3	1	4	1	0	1	2	1	3
昭和女子大	0	0	0	0	0	0	2	0	2
立教大	7	1	8	6	3	9	10	0	10
早稲田大	13	4	17	3	1	4	9	6	15
神奈川大	8	0	8	3	0	3	15	1	16
常葉学園大	4	0	4	5	0	5	5	0	5
静岡文化芸大	4	1	5	9	0	9	9	0	9
聖隷クリスト大	4	1	5	6	1	7	3	0	3
愛知大	3	0	3	11	1	12	11	0	11
愛知医大	0	0	0	0	1	1	1	0	1
愛知学院大	3	0	3	5	0	5	0	0	0
中京大	9	1	10	10	1	11	11	0	11
南山大	5	0	5	7	1	8	14	1	15
名城大	7	1	8	16	2	18	20	2	22
名古屋女子大	2	0	2	3	1	4	2	0	2
藤田保健衛生大	3	0	3	0	2	2	0	0	0
椋山女学園大	1	0	1	0	0	0	3	0	3
金沢工業大	0	0	0	3	0	3	1	0	1
日本福祉大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京都外大	3	0	3	5	0	5	1	0	1
京都薬科大	0	0	0	0	0	0	1	2	3
京都産大	0	0	0	2	0	2	3	0	3
京都女子大	3	0	3	3	0	3	2	0	2
同志社大	11	3	14	8	3	11	8	4	12
龍谷大	10	2	12	6	0	6	3	0	3
同志社女子大	0	0	0	10	0	10	2	0	2
立命館大	29	11	40	27	9	36	41	10	51
関西大	10	0	10	13	2	15	6	7	13
関西外大	0	0	0	1	0	1	0	1	1
関西学院大	5	0	5	1	0	1	5	1	6
甲南大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
創価大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿大	4	1	5	1	1	2	5	1	6
摂南大	0	0	0	0	1	1	3	0	3
私立計	342	60	402	328	73	401	371	114	485

国公立大学名 (管外大学を含む)	平成19年度			平成18年度			平成17年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
帯広畜産大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
北海道大	3	0	3	2	0	2	0	1	1
東北大	4	0	4	0	1	1	2	0	2
福島大	1	0	1	1	0	1	0	0	0
筑波大	1	0	1	1	0	1	4	1	5
茨城大	0	0	0	3	0	3	2	0	2
宇都宮大	1	0	1	0	0	0	0	1	1
群馬大	1	0	1	1	0	1	0	0	0
埼玉大	3	0	3	3	0	3	1	0	1
千葉大	6	1	7	2	1	3	6	0	6
お茶の水女子大	1	0	1	0	0	0	1	0	1
東京大	1	0	1	0	0	0	0	1	1
東京外大	0	0	0	2	0	2	1	0	1
東京学芸大	5	0	5	2	1	3	1	1	2
東京医科歯科大	1	0	1	0	0	0	0	1	1
東京海洋大	0	2	2	1	0	1	0	0	0
東京工業大	2	0	2	1	0	1	1	0	1
東京農工大	2	0	2	2	0	2	1	0	1
一橋大	1	0	1	0	0	0	1	0	1
電気通信大	1	1	2	1	0	1	1	0	1
横浜国立大	3	1	4	2	2	4	3	0	3
新潟大	0	0	0	0	0	0	1	0	1
金沢大	4	0	4	5	1	6	4	1	5
福井大	0	0	0	0	0	0	1	1	2
富山大	0	1	1	1	1	2	1	0	1
山梨大	2	2	4	1	0	1	1	0	1
信州大	1	0	1	7	1	8	3	0	3
岐阜大	0	0	0	1	0	1	0	1	1
静岡大	11	4	15	14	2	16	6	2	8
浜松医大	2	0	2	3	0	3	1	0	1
名古屋工大	1	1	2	2	0	2	0	0	0
愛知教育大	1	1	2	0	0	0	1	0	1
名古屋大	7	0	7	4	0	4	5	0	5
三重大	0	0	0	1	1	2	3	0	3
滋賀医科大	0	0	0	0	0	0	0	1	1
滋賀大	0	0	0	3	0	3	0	0	0
和歌山大	0	0	0	0	0	0	1	0	1
京都大	0	1	1	1	0	1	0	0	0
大阪大	4	2	6	0	0	0	0	1	1
大阪教育大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
神戸大	2	0	2	0	1	1	2	1	3
奈良教育大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
奈良女子大	0	0	0	2	0	2	1	0	1
鳥取大	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岡山大	2	0	2	2	0	2	1	0	1
広島大	2	0	2	1	0	1	0	1	1
山口大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
香川大	1	0	1	0	0	0	1	0	1
九州大	2	0	2	0	0	0	0	0	0
長崎大	0	0	0	0	0	0	1	0	1
鹿児島大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
琉球大	0	0	0	0	0	0	1	1	2
国際教養大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
埼玉県立大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
首都大東京	1	1	2	4	1	5	4	0	4
横浜市立大	4	0	4	1	0	1	1	0	1
高崎経済大	0	1	1	2	0	2	3	0	3
山梨県立大	2	0	2	0	0	0	0	0	0
都留文科大	1	1	2	2	0	2	2	0	2
静岡県立大	6	0	6	5	1	6	6	2	8
愛知県立大	2	0	2	1	0	1	0	0	0
名古屋市立大	0	0	0	0	0	0	1	0	1
愛知県立芸術大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
奈良県立大	1	0	1	0	0	0	1	0	1
京都府立大	1	0	1	0	0	0	2	0	2
大阪府立大	1	0	1	1	0	1	0	0	0
大阪市立大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
兵庫県立大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
航空保安大学校	0	0	0	1	0	1	0	1	1
防衛大	0	0	0	0	0	0	0	1	1
国公立(管外)計	106	21	127	96	14	110	83	22	105

第4回同窓会講演会

11月20日、西高OBで、元NHKディレクター中村勲さん（高11回）を講師に迎え、中等部の生徒を含む千八十人の生徒を前に「出会い・体験・波乱万丈」と題して講演会を開催した。

中村勲さんの講演内容

連合赤軍浅間山荘事件や三島由紀夫事件などのドキュメンタリー制作を担当した経験に触れながら、体験が物の見方や考え方を決めることなどを伝えた。「多くの人と出会い、経験を重ねて、人生を深めていってほしい」と生徒にエールを送った。

西山賞受賞者

卒業式に先立つ2月29日に行われた同窓会入会式で、「全国レベルで格別に優れた業績・功績を挙げた生徒」に対して、3部門別（文化芸術部門・スポーツ部門・善行部門）に同窓会より西山賞が授与された。今年度から、高等部に加え中等部の生徒も対象となった。

中等部

①文化芸術部門

山下 綾

「社会を明るくする運動作文コンテスト」法務大臣賞

神農広樹

新村彩華

「全国アンサンブルコンテスト」金賞

弦楽部

「こども音楽コンクール

東日本優秀演奏発表会」中学校合奏第一部門最優秀賞

②スポーツ部門

高田千奈美

「全国中学生テニス選手権大会」ダブルスベスト8

高等部

①文化芸術部門

牧村知佳

「第30回毎日全国学生書写書道展」文部科学大臣奨励賞

加藤晃太郎

「全国高校化学グランプリ」銅賞

②スポーツ部門

村松麻美

「平成17年度全国高等学校総合体育大会」女子400mリレー4位女子総合2位

肥田愛美

「平成17年度全国高等学校総合体育大会」女子1600mリレー2位

女子400mリレー4位女子総合2位

笹俣真里奈

「平成17年度全国高等学校総合体育大会」女子400mリレー4位女子総合2位

古橋知菜美

「平成17年度全国高等学校総合体育大会」女子1600mリレー2位女子総合2位

石田佳菜子

「平成18年度国民体育大会」硬式テニス少年女子3位

新刊紹介

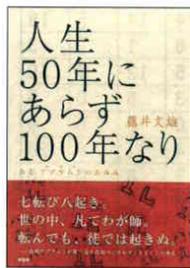
同窓生の著作です

「心の中の国境線」



望月 望 (高6回)

「人生50年にあらず100年なり」



藤井文雄 (中8回)

「そはわが想ひひと」



飯浜廣幸 (高18回)

「キミと歩いた357日」



土屋志保 (高56回)

「平成21年度静岡県立浜松西高等学校・同中等部の入学者選抜」について(予定)

	中等部	高等部
募集定員	160名(4学級)	40名程度(1学級)
選抜資料	総合適性検査、作文、面接、調査書等	調査書、学力検査、面接、実技検査(希望者)
実施期日	平成21年1月10日(土)総合適性検査、作文	平成21年3月4日(水)学力検査等
	平成21年1月11日(日)面接	平成21年3月5日(木)面接、実技検査(希望者)

*お知り合いの方々にお知らせください。

編集後記

◆今回がはじめての会報編集作業は、頼もしき女性陣の大活躍で「あつ」という間に校了とあいなりました。浜松西高同窓会の一員として会報作成の一助となれば幸いです。(K)

◆老眼鏡をかけ、老体に鞭打ち頑張っています。編集のお手伝いをして下さる方募集中。(T)

◆家庭に入り十数年。母校に通い集う事が楽しみでした。来年もがんばりたいなあ。(T)

◆編集委員も二年目に突入。態度はすっかり大きくなり、さて今年は何をした？(Y)

◆編集委員に参加させて頂いて、一層西高生の絆を実感することができました。(I)

会報編集委員

- 左右田丈夫 (中19回)
- 近藤 哲哉 (高9回)
- 土屋 孝典 (高14回)
- 伊藤多恵子 (高24回)
- (同窓会副会長)
- 西尾 和三 (高24回)
- (編集委員長)
- 佐野 元恵 (高25回)
- (編集部会計)
- 伊藤 陽子 (高26回)
- 山下 哲広 (高34回)
- 野村 千明 (高38回)
- 山本 優美 (高40回)
- 西澤位知子 (高41回)